

3学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年6月11日 第15号
文責:江頭 俊輔

[ワールドカップが開幕します!]

いよいよワールドカップが開幕します。6月11日(木)11時30分に(現地)メキシコシティのエスタディオ・アステカで行われる予定です。約1か月ほど行われるサッカーの祭典にみなさんも熱狂してほしいと思っています。ちなみに日本代表の第一試合は6月15日(月)午前5時にキックオフ予定です。

選手にとって、4年に1度しかないワールドカップは「選手生命をかけた大会」となります。各国の代表として、国の威信を背負い、自分のためだけでなく、チーム(ひいては母国)のためにプレーする姿からは学ぶべきものがたくさんあると思います。ちょうど時を同じくして、私たち中学3年生も「中体連/中文連」という最後の大会が迫っている時期です。どんなメンタリティで試合に臨むのか、何をかけて、何のためにプレーするのか、ぜひ、選手の「想い」の部分にも注目してほしいです。

[ジャイアントキリング]

サッカーの一番の醍醐味と言えば、「ジャイアントキリング」です。これは、弱者が強者を倒すという意味で、サッカーではよく下馬評(事前の評判)をひっくり返す試合が行われます。前回ワールドカップの日本対ドイツ戦がまさにその象徴です。

江頭から見ても、10回に1回勝てるか、勝てないかの相手が2国いたので、実際、引き分けでも万々歳、勝つなんて予想もしていませんでした。(結果、日本はドイツとスペインに勝利し、グループリーグを突破します。これこそ、『ジャイアントキリング』です。)今回紹介したいのは、第一試合めのドイツ戦前に日本代表がどんな想いで試合に臨んだのか、です。今回は(Team Cam vol.07 | 歴史的な逆転勝利 ドイツ戦の舞台裏 | FIFA World Cup Qatar 2022™ Nov-Dec 2022, <https://www.youtube.com/watch?v=XT06HSyrMrg&t=473s>)から紹介します。

当時キャプテンの吉田選手はドイツ戦前の個人インタビューで「今回の大会を通して、どれだけ多くの子どもたちが日本代表になりたいだとか、サッカー選手になりたいだとか思ってくれるかが大事だと思っています。」と語り、このドイツとの試合でサッカーの魅力を伝え、サッカー文化を一層根強いものにする日本代表の力の証明を目標に掲げていました。



[歴史変えてきたやつは絶対、勇気もって前進してきたやつだけだから]

「ドイツは俺らに負けるなんて1mmも思っていないぞ、絶対チャンスあるから、絶対そこに隙あるから。みんなでいこう。歴史変えてきたやつは絶対、勇気もって前進してきたやつだけだから、今日俺たちが歴史変えよう。」試合前の円陣で、キャプテンの吉田選手は、チームメイトに熱く語りかけます。当時ドイツのチームでプレーしていた吉田選手だからこそ、ドイツが国として、「日本に負ける」なんて考えていないことが説得力をもって、鮮明に伝わってきますし、「子どもたちが憧れる試合をする」という吉田選手の想いが、



チーム全体に勇気を与え、「ジャイアントキリング」という結果になったことは言うまでもないです。「あきらめない」ことが大切。というそんな簡単なものではありません。確固たる覚悟、そして勇気が1つになった瞬間でした。中体連/中文連に向けて、最後までチームメイトと「想い」を確かめる期間にしよう。